



西有家中No4

令和5年 6月16日
南島原市立西有家中学校
校長 本多 洋二

市中総体球技・武道大会終わる！！

去る6月11日・12日の両日、令和5年度市中総体・球技・武道大会が開催されました。西中生徒の皆は、県大会出場を目指し、それぞれの競技で、精一杯頑張っていました。当日は、悔し涙を流した生徒、うれし涙を流した生徒等、たくさんのドラマがありました。結果は次のとおりです。

<球技・武道大会>

◎団体

○バレーボール女子 優勝（県大会出場）

○サッカー 優勝（県大会出場）

○軟式野球 準優勝

○ソフトテニス男子 準優勝

○卓球 準優勝

○バスケットボール女子 予選敗退

○ソフトテニス女子 予選敗退

◎個人

○ソフトテニス

男子 永橋・城谷ペア 準優勝
（県大会出場）

女子 安達・池田ペア 3位



表彰を受ける永橋・城谷ペア。準優勝にも悔しさでいっぱいでした。県大会でリベンジを！

朝のボランティア活動

毎朝、生徒会役員の皆さんが朝のボランティア活動を行っています。内容は、挨拶運動、草取り、ごみ拾いなどです。草取り等については、バレーボール部、軟式野球部も自主的に活動に参加しています。生徒たちの自主的な活動です。西中生は、自らの心も磨いています。

下の写真は、運動場と校舎の間の溝に雨が降ると、運動場の砂が流れ込み水はけが悪くなるため、泥上げを行っています。



<朝から溝の泥上げを頑張る生徒たち>

PTA 母親部会による挨拶運動

毎月1日には、PTAの母親部会のお母さん方が挨拶運動を実施されています。お母さん方にとって、朝の一番忙しい時間に正門付近に立たれ、交通安全も含めて、挨拶運動をしていただいていることに感謝です。



活躍！生徒会役員

去る6月8日（木）令和5年度生徒総会を開催しました。各学級から、色々な意見が出て、それに対して生徒会役員が答弁をする行事です。小さな意見が集まって大きな渦となり、組織全体を変えていくという点で、大切な会です。生徒たちは、2時間弱、真剣に取り組んでいました。



<意見を述べる2年生>



<答弁する生徒会役員>

7月の主な行事予定

3日（月）～7日（金）

○長崎っ子の心を見つめる教育習慣

3日（月） 教頭講話（1校時）

4日（火） 人権講演会（カムス）

5日（水） 道徳授業参観

学年PTA

6日（木） 民生児童委員さんとの
懇談会

10日（月） 小中合同学校支援会議

11日（火） 特別支援学校との交流

13日（木） 学習コンクール（国）

18日（火） 生徒集会

20日（木） 終業式

ブレイクコーナー

自分の考えや人の受け売りです。気軽にお読みください。

「目は心の窓」

「目は心の窓」「目は口ほどにものを言う」などと言われます。相手の目を見て話すことは大切なことです。このことを実験した人がいます。感情や態度について、矛盾したメッセージが発せられたときの人の受け止め方について、人の行動が他人にどのように影響を及ぼすかを実験したのです。それは、アメリカの心理学者アルバート・メラビアンという人です。

例えば「ごめんね」と言葉では言っても目をそらし、ふてくされた表情で言われたら相手はどう感じるのでしょうか。このことについて実験をしたのです。

このメラビアンの実験によれば、**言葉そのものでは7%しか伝わらず、話すスピードや話し方で38%、表情や態度で55%**、その人の気持ちを感じ取ると言われます。言葉そのものよりも話し方や表情、態度から、相手には気持ちが伝わるということです。

つまり人と接するときは、表情や態度が最も大切だという結果が出ています。人と接するときは表情にも気をつけたいものです。西有家中は、常に笑顔で接する生徒で溢れる学校を目指しています。